

学級活動指導略案

指導者名 ○○ ○○

- 1 対象 第4学年 31名
- 2 日時 令和6年6月26日 水曜日 第5校時 (13:40~14:25)
- 3 場所 4年教室
- 4 単元名 歯と口の健康づくり「オリジナルお口体操 あ・い・う・え・お」
- 5 本時の目標
口の動かし方によって、相手に意見が伝わりやすいことを理解し、口の動きの意識を高めることができる。
- 6 本時の展開 (1/1)

過程	学習活動	学習形態	指導上の留意点	評価規準 【評価の観点】 (評価方法)
導入 10分	○口の体操 「あいうべ体操」 「あいうえお体操」 ○口の体操をする目的を確認する。	個別 一斉	○口の動きを意識しながら行う。 ○歌詞や会話をイメージさせ、相手に自分の意見を伝えるためということを確認する。	◆口の動かし方を意識することで相手に意見が伝わりやすいことを理解し、口の動かし方を意識した体操を考えている。 【思考・判断・表現】 (発言・ワークシート)
展開 30分	○口の体操でどのような効果があったのか、早口言葉に挑戦する。 ○全体で気付いたことを交流する。	個別 一斉	○1か月前に挑戦した早口言葉に挑戦し、前回との違いを考える。 「言いやすくなった。」「言うことができるようになった。」 ○「お口の体操」の効果にふれる。 →自分たちでオリジナルの体操を作りたい意欲を出させる。	十分満足できると判断される状況 ○口の動かし方を意識することで相手に伝わりやすいことを理解し、相手に伝わるような話し方をしようとする意識を高めている。
	○班で「あいうえお体操」の内容を考える。 ○出来上がったお口体操を発表する。	グループ 一斉	○班でお口体操の内容を考えさせる。 ○口がしっかり動くことを意識させる。 ○時間があれば、全員に復唱させる。	努力を要する状況への手立て ○友達の見えをもとに、口の動かし方で伝わり方が変わること気付かせる。
まとめ 5分	○振り返りをする。	個別	○「今日わかったこと」「この学習をこれからどのように生かしたいか」を振り返らせる。	

4年生の「オリジナルお口体操」をつくら